



東京都立城東職業能力開発センター

設置・運営 ● 東京都
所在地 ● 東京都足立区綾瀬5-6-1
訓練課程 ● 能力開発訓練: 木工技術・電気工事・若年者就業支援(塗装コース)・アパレル/パタンナー・実務作業・溶接・住宅内外装仕上・建築設備施工・電気設備管理・介護福祉用具・ビル管理・エンジニア基礎養成・ジョブセレクト
訓練期間 ● 2ヵ月～1年

公共職業訓練と企業支援を体系的に実施



旧亀戸技術専門校と 旧足立技術専門校が統合

東京都立城東職業能力開発センターは、都内城東地域(台東区、墨田区、江東区、荒川区、足立区、葛飾区、江戸川区)の人材確保・育成の拠点として、公共職業訓練と企業支援を体系的に実施している。

もといずれも60年以上の歴史がある旧亀戸技術専門校と旧足立技術専門校で、平成27年4月に統合して開設された。JR常磐線・東京メトロ千代田線綾瀬駅から徒歩8分の場所にある。

センターが目指すもの

同センターの理念について訓練課長の百野衛太氏は「公共職業訓練については、ものづくり人材を育成する『ブレイヤー』。企業支援については、地域の人材力を高める『推進役』として教育・訓練を行っています」と語る。

公共職業訓練としては、求職者、離転職者向けに、ものづくり及び施設設備系中心の科目で、業界が求める技術・技能の革新に対応した訓練を実施し、求職者の就職を目指す。また在職者のための短期的な能力向上訓練も行っている。

企業支援としては、地域における中小企業等の人材育成・確保に関する相談・情報提供とともに、企業・業界団

体等との協働・連携による取り組みを進めている。また、技能継承や職業能力の向上をめざして「人材育成プラザ」を併設、教室・実習場等施設設備の貸し出しも行っている。

「城東地域は、この地域で生まれ育ち、そして就職したいという方が多いので、ぜひともその願いをかなえるべく、常に産業界の最新のニーズに目を配りながら職業訓練を実施しています」(百野課長)

新たな取り組み「ジョブセレクト科」

同センターでは、職業訓練における新たな取り組みとして「ジョブセレクト科」を開設した。「今まで働いたことがない方」「就業経験が浅い方」「自分がやってみたいことを探している方」向けの訓練で、期間は2ヵ月。製造業・施工業の代表的な基本作業を通じて、働くために必要な知識と、社会人に必要な知識を学習する。

最初の1ヵ月は、機械・建築・電気・設備・塗装・介護などの実習が主体、2ヵ月目は社会人マナー・文書作成・パソコン基礎を中心とした内容である。

「訓練修了後、唯一、連続入校ができる科目です。希望者は、さらに東京都で実施する訓練に応募することが可能です。また、当センターの一部の科目では、ジョブセレクト科修了後1年

以内は、入校選考で学科試験が免除となります」(百野課長)

取得できる資格は、1年訓練は課程修了(技能照査試験合格)により、技能士補が与えられ、いくつかの科で2級技能検定試験の学科試験が免除となる。その他、第二種電気工事士やガス溶接技能講習修了証、介護職員初任者研修修了証明書といった資格取得が可能である。

修了生の声

最初に「ジョブセレクト科」に入校、後に「建築設備施工科」に連続入校して学び、現在は株式会社平井設備に勤務する間仁志氏は、「私は、空調工事の仕事を辞めて、半年ほどアルバイトで過ごしていました。このままではまずいと思い、家から近く、費用も安く、半年で職に就けるとのことで、ここを選びました。ジョブセレクト科で様々な科目を体験した結果、やはり空調関係の勉強をしたいと思うようになり、続けて建築設備施工科を選びました。」

ゼロからのスタートの人が多くですが、就職するというゴールが一緒なので、助け合いながら訓練ができと思っています。就職支援体制も非常に充実していて、先生も親身にアドバイスしてくれまので、難しく考えずに、とりあえずやってみてください」と語った。